

2020年度 年度末 アンケート結果(自由記載分)

幼稚園では行事ごとに細かく係を募集していました。一年間拘束される係の負担は大きいので仕事を細かく一回の負担を少なく、自分ができるところをお手伝いできればと思います。

無駄のない活動、子供のための活動

毎年抽選でもれて委員になれず高学年になったときに何もしていない人と見られ希望しない役員などが回ってくるというような噂を聞きます。この決め方で不公平感がないと言えるのかなと思います。

平日昼間に託児付きのアロマや料理の講習、PTA が主催する必要があるのか疑問です。学びたい方は、ご自分で外部の数あるイベントから選んで参加できればよいと思います。PTA のイベントに参加する方、しない方、できない方がはっきり分かれ、参加する方以外の方のPTA 会費は、参加する方への強制的な寄付以外のなにものでもありません。PTA そのものの意義は否定しませんが、全ての活動を「今からスタートするとして必要か」再検討しないと、何十年も前に思いつきで始めたようなことを苦痛と感じながら続けることになると思います。

ICT 化は必然です。

推進して下さった委員の皆様どうもありがとうございます。

幸い、小学生の親世代という限られた世代での情報共有なので、デジタルが苦手という意見を重視し過ぎる必要はないと考えます。子どもたちに iPad が配られたわけですし、親がデジタル無理なら子どもに頼れば解決です。

本当にありがとうございました。

長の平日午前の会議がフルタイムの私には有給も減り辛かった。負担を考えると、無償ではなく役員家庭は会費免除にしてはどうか。それに伴い今よりはやりたいと希望する家庭もあるのでは。。

大変な時期での活動ありがとうございます。

PTA 本部役員も、それぞれ一保護者であり、1 年の任期では内容の把握、実行がまずは第一であり、大きく改革までは難しいところがあると思います。PTA の内容を把握している職員が学校内にいると、任期中に改革まで取り組みやすいのではないかと思います。

実働が難しいと感じる保護者が多いのであれば、会費を上げて、PTA 担当職員を置いていただくのも、1 つの方法ではないでしょうか。

小学校でもボランティアで PTA 活動を募集していただけるようになればぜひ参加したいです パソコンや人前で話すのは苦手ですが活動には興味があります 活動に参加することでまったく様子がわからなかった子供達の様子が少しでも分かるようになるのを期待しています

児童数が増えていて一子一役も当たらない現状があるなかで、立候補が義務化していきにくじに当たれば子供の数だけ役をやらざるを得ない方も出てくるのは不公平ではないでしょうか。これだけ児童、家庭が増えているので家庭数で役を考えても良いのではないかと思います。

また、補充委員は絶対不要。

それまでの話もわからないのに途中から入るのは入る方にも受け入れる方にも負担が大きい。しかも一年中回ってくるかこないかドキドキしなければならないのに、3分の2以上活動しないと履歴がつかないなんて、それで次年度また当たったら当たらない人との差が大きすぎる。せめて1日でも活動したら履歴をつけるべき。

ぜひ、この不公平感をなくしてください。

期待しています。

広報委員をしていましたが、広報にかかる金額が多いなど個人的に感じました。ラクスルなどのWeb サービスを利用して安価に印刷したり、作成したPDFをWeb上で公開するなど、費用を抑えつつ、PTA活動を広報する手段はまだまだあると思います。広報が多くの金額を使っている横で、学級委員の方が一生懸命ベルマークを整理されていることに違和感を覚えます。広報の費用を抑え、その分、子どもたちに必要なものを購入したり、トイレ掃除の業者をお願いしたりした方が、子どもも先生方も、工夫した保護者もみんなHappyだと思います。

Webの活用に懸念される保護者の方もいると思いますが、Webの活用によるメリットの方がはるかに大きいと思うので、本部主導で進めていってもらえたらと思います。

広報委員は、目の前の作業をこなすのに精一杯で(すみません、本部の方の方がお忙しいと思いますが…)昨年と違うことをすることに躊躇があります。昨年のものをそのまま踏襲してなんとか無事に終わらせられる作業量です。その為、最初に「発行回数を減らしてでも、Web化の方向で」など、本部の方からお声がけいただけたら、改革しやすいかもしれません。(でも、その時の広報委員の方のWebスキルにもよりますよね。)

長々と申し訳ありません。PTA活動自体は、子ども達の為にもなり継続していくと良いなと思っております。共働き家庭が増える中、今回のように、継続していくために改革していただけていること、とても感謝しております。今年度も活動いただき本当にありがとうございました。

委員や役員の方に負担が片寄らないのが良いと思います

まず進んで役員をやりたい方が立候補して誰もいなければクジ引きにするというのが良いかと思う。親子行事も負担です。PTA加入も当然の扱い。退会方法も知らされない。加入するとしなくて何が違うかも説明がない。強制的なイメージしかないし周りからもよく聞きます。

ほとんどの人が仕事を持ち、忙しくしている時代なので負担軽減が一番と思います。必ずしも必要ではない仕事もあると思う。ネットの活用などは大いに賛成です。

パトロールの内容を見直して欲しいです。

パトロールは子供達の安全のために重要だと思うのですが、今の週替わりのパトロールに何の効果があるのか？疑問です。

ご検討くださいませ。

とにかく児童のため(児童のためにも先生に負担をかけないように)に必要なことはなにか。具体策は挙げられないですが…

ダラダラと無駄に長いミーティングが耐え難いです
粛々と簡潔に進行し、拘束時間や負担が少ないと幸いです
平日ではなく土曜日等であればまだ参加しやすいです

PTA 活動を通して感じたことは、「活動をすることによって、学校と関わることができる、自分自身の世界や視野が広がる」ということです。子供の学校での様子を知ることができたり、先生方や他の保護者の方と関わることができるなど、得られたものはとても多かったです。また、歴代の本部役員の方々、委員の方々のご苦勞や努力のもとに成り立っていることも改めて感じました。ですので、保護者の方々が可能な範囲で関わることには大賛成です。
平日の昼間に活動したい方、休日に活動したい方、夕方や夜に活動したい方、と、それぞれみなさんのニーズが異なると思います。多くの方々が参加できるように、時間や日にちななど、パターンが選びやすくなるとありがたいです。

PTA 会費を増額してでも、報酬制にすれば、活動できない人の負担は減り、やりたい人は報酬が入るので、双方ハッピーと思う(但し、満遍なく意見を取り入れる努力は必要)

PTA の必要性がよくわからない。

ベルマークも労力を考えるとクラウドで募った方が早いと思う。

地区パトロール、大事だと思うが必ずチームの人と日時を擦り合わせるのが大変。
年間 2 回行けるときに 1 人で行って、行ったらメールで報告ぐらいの気軽な感じがいい。

PTA の委員履歴がポイント制であるために、必要のない委員や仕事が多いと思います。
児童数も多くなってきたため、保護者全員がやる必要はないと思うし、必要のない仕事は減らすよう見直すべきだと思います。(例えば、家庭学級委員の仕事、学級委員の人数、など)

PTA として必要な活動と、サークルやボランティアで参加する活動を分けた方が良くと思います。

- ポイント制は罰ゲームのような感じがしてやめた方がいい
- 会議が多い

平日昼間の会議はフルタイムでがっつり働いている人には酷。また委員長の負担が大き過ぎるので、もっと役割分担をしてもよいと思う。(定例の役員会前のプリント作生など)
会議は今時、携帯のラインでも出来るのでやり方次第で家でも対処出来るはずだが、ガラケーの人がいないとも限らないし、各々が使いこなせるかが鍵ですかね…？！

児童数も増えているのもっと活動を細分化して、1 人の役員の負担を減らすべき。
6 年間役員をやらずに終わる人もいるので、全員必ずやるという条件ならもっと平等に負担を分けるべき。
現状のように全員に負担がいかないのであれば、御礼金を出すなどして立候補する人が増え、役をやっている人もある程度納得できる対策をしてはどうか。
登録委員の 20 ポイント制度の意図が不明。動員に立候補しても当たらずポイントが獲得できないし、運動会では動員されるのにポイントは付かず。なのに 20 ポイント獲得するまで辞められないので 4 年間ずっとやらなくてはいけない。他の委員の負担と対等なのか甚だ疑問。満了できるポイントを下げるか一回の動員で獲得できるポイント数を増やすなりして、もっと多くの人で役を回してはどうか。

こどもが保育園や学童のときに役員をしてきて保護法の負担と人間関係についてデメリットが多かったです。なので PTA に関してもネガティブな印象しかないので、入りたくないです。強制的に皆がやらないといけないとかいうのもすきじゃないので、これからの時代特に任意で毎年入るか入らないかしてほしいです。

PTA 活動の内容がわかりにくいかなと感じます。色々難しいかもしれませんが、知り合い同士で参加できるなど不安を和らげるよう PTA へのハードルを低くできたらなと思います。

難しいという意識を吹き飛ばすような PTA

リモートで気軽に

学級委員の委員長を経験したことがあります。平日仕事をしていたため非常に大変でした。委員長のみ月 1 回平日午前の会議があり仕事を休ませてもらわなければならなかったのがきつかったです。また、委員長は他の委員より負担がかなり大きく仕事量が多かったのが更につらく、ストレスから体調を崩しました。そういう訳で委員長の負担はもう少し軽減した方が良くと思います。もしくは委員長を経験した場合は兄弟の PTA 委員は免除くらいでもいいと思います。それくらい仕事量が違いました。

今は変わったのかもしれないですが、以前はデータは持ち出せず学校の PTA 室でなければ資料作成ができなかったのも平日仕事をしている場合は難しいので家でもできるようになれば良いと思います。

子どものための PTA なのに親が大変な思いをしてストレスで体調を崩しては何の意味もないので何が何でも全員がやらないといけないと言うのは変えてもいいのでは。

通年委員になって活動するのではなく余裕があるときに手伝うなどの方式でもいいのかもしれない。現在は登録委員で活動中ですが、そのような感じで必要な行事の際に募集されて参加するなどはどうでしょうか。本部役員はそういうわけにはいかないのでは他の委員の話です。

PTA に参加したことがないため、想像で意見申し上げます。改革するのは 1 年度限りの任期でやりきるには難しいのかと思われます。今年のコロナ禍であらためて本当に必要な活動がわかった部分もあるのかもしれませんが。改革を進めるにはどうしたらいいか、まずは話し合っていく必要があるのでは。今の行事を運用するだけで精一杯のなかでは長期的な改革は難しいのかもしれませんが。必要な行事を残し、今のニーズに合わない行事は改革のための委員にあててもよいのかもしれませんが。みんながハッピーになれるというのは、とても大切だと思います。PTA の活動で、仕事を休むのに年休が削られ、必死な思いで活動してる方の意見も聞いたりします。色々な家庭があり、様々な意見があるかと思いますが、web 会議など、どこでも誰でも参加できるツールは大変ありがたいと思います。やりたくないというよりも、仕事などで、日中制限がありできないこともあるかと思いますが、是非とも ICT 化を進めていただければより少ない労力で、必要なことができそうです。一度も PTA をやったことことがない者なので、そぐわない意見かもしれませんが、一意見として、回答いたします。

強制的にやらされることがなければ、みんな幸せになると思います。

PTA がなければ、委員をやらずに済んで保護者は喜ぶと思います。なぜ PTA があるのか、必要性を考え、保護者に理解してもらうこと、喜んで委員として参加しようと思えることが大事だと思います。

フルタイムで仕事がある、小さな子どもがいるのに委員になったら本人も負担ですし、同じ委員の他の方に迷惑もかかります。また、委員から逃げきって卒業していく方もいれば、何度も引き受ける方もいます。そういった不公平感をなくせるようにすることも大事だと思います。

平日の昼間動ける人と、仕事があり土日なら活動できる人など、それぞれの生活スタイルに合った PTA 活動ができるような仕事の割り振りが、もう少し細分化されていると良いかと思います。現状は、とりあえず何かの委員になった後は、そのメンバー内でのやりくりに任されていますが、どうしても沢山活動する人とほとんど活動しない人など、仕事量の偏りができてしまっていると思うので。

PTA の詳しい仕組み内容を理解できてません。

履歴制度を徹底し、ボランティアではなく、報酬制度はいかがでしょうか。

多少の PTA 会費が上がることは問題無いと思っております。

いつも活動を色々考えていただきありがとうございます。

やればいろいろ得るものがあると思います。学校に任せっきりにするのではなくて。みんなで支えていくものだと思います。オンラインでも人と人がつながれたらいいなと思います。しかし今は仕事が忙しくて…。申し訳ないです。

前もって活動する日時や活動する回数を教えてほしい！

何回か活動するかもわからない・活動する日時などもわからなければ仕事している人からすると仕事を休めないから PTA をしたくないと思う人が多いと思う！みんながみんな主婦ではない。

達成感が味わえる、学校や地域に貢献出来ていることが実感出来る活動となれば良いと思います。

千里敬愛幼稚園をお手本にしてはいかがでしょう？ 役をなくしボランティアにしたら、たくさんのお母さんが参加されています。

やりたい物を選んで一人が年間一つやる。

始めてでもできるように、やり方はネット上に載せておくなどしてはどうか？

プリント配布や回答などできる限りインターネット上で全て行う。インターネット設備のない人のみプリントにておこなう。

地区のパトロールはマンションの人 2~3 人に電話で連絡をとって日時を合わせてパトロールして、次の人に服を渡すのにも、知らない人だとまた電話してと大変です。

以前高野台小学校の人に聞いたのですが、一人で一週間のうち 1~2 回好きな日時にパトロールし、校門で名前にチェックをするシステムのように、その方がよいと思います。(詳しくは知りません)

広報も、年間 1 回配布でいい気がします。

家庭学級も半分に削減したらいいと思います。

ラジオ体操も不要のような気がします。

学級委員の 6 年生お別れ会は何をするのかわからないので、立候補しにくいです。

pta とは関係ないですが、学校をお休みする時の連絡は未だに連絡帳を友だちに持って行っても

らうやり方ですが、コロナが流行っているし、コロナ以外でも風邪の菌など連絡帳や人を介してをお友達に移す可能性があることから、預けにくいです。ネット上で連絡できるようにしてほしいです。

仕事が月1日しか休暇を取得できず、PTA委員になり、月1の休暇取得をPTAに当てると、その他の学校行事(授業参観など)に参加できなくなる。だから、やりたくない、考えてしまいます。

未就学児のいる家庭、父母共に就労している家庭はPTA活動において負担が最小限になるように6年間免除すべき。

活動なしではダメなのか。委員等選出の為に全員が決まるまで集まりが終わらないのは怖い。向いていない役回りが無理やり回ってきそうで負担だ。

委員長は他の委員に比べやる事が膨大で不公平に思う。一度委員長をした人には前後兄弟姉妹の入学や進級児がいようと永遠的に委員長若しくは委員履歴が有りて役員免除になるシステムがあれば公平性もあり安心するのではないか。

今は毎年どれかに必ず立候補してからの抽選で役員が決まっているがそれだと抽選で当たってしまったと仕方なく嫌々やる人もかなり多い為、活動的にも結局委員長に負担がかなりかかっているのが現状。

一旦強制ではなく立候補制にしておいて、足りない部分だけ再度補う候補募るかそこから抽選にするか何かしらこの役員決めシステムを紙ではなくオンライン化するなり改革が必要に思います。

参加するタスクが細分化されていて、行きたい時に、行ける保護者が参加できる形態であれば、楽しく自発的に取り組む保護者が増えるのではないのでしょうか。その場合、最低必要人数に達しないタスクはどうするのか？活動中止していいのか？(地域や、校外の諸団体が関係する取り組みについて、そのような場合にどう対処するのか?)など、事前に会員の意向をまとめておく必要はあるかと思います。また、タスクの設定管理や調整・連絡担当するメンバー(現行の本部役員のようなもの?)の作業量が増えてしまっては、かえって担い手が居なくなって困るので、IT化を緩やかに促進しつつ、シンプルなやり方で出来るといいのですが…。…と、外から言うのは簡単ですが、現役でご苦労なさっている方々にとっては本当に悩ましい問題だと思います。一年交代のPTAでどこまで出来るか…少しずつ力を出し合って快適なPTAになるなら、わずかかかもしれませんが、出来ることをお手伝いしたいです。役員・委員の皆さま、1年間お疲れさまでした。ありがとうございました。

主婦なので当たり前のようにPTA活動に参加していますが、フルで働いている方には負担だと思います。フルで働いている人は無理に委員などになることなく、別の関わり方を検討してみては？働いていない私は、子供一人につき1回の委員活動では少し物足りないです。毎年、学校行事の手伝い等もう少しできれば嬉しいです。

任意団体です。といいつつ加入率ほぼ100%と言われる。まずそこから変えませんか？

働いていると、平日の9時17時の時間帯の会議は非常に負担になります。

子どもの参観・懇談に加え、休みがとれません。

保護者の負担を減らすべく外部委託をしたり、やりたい人、やってくれた人に対して報酬制度を作る。

委員長を決めず、役員が順番に会議に出るようにしたらよい

仕事をしてる人が多い中、委員にしぼることなく、イベントごとにできる人がする形にすればよいのではないかと思います

達成感が味わえる、学校や地域に貢献出来ていることが実感出来る活動となれば良いと思います。

未就学児のいる家庭、父母共に就労している家庭は PTA 活動において負担が最小限になるように 6 年間免除すべき。

本部業務は多忙とは思いますが、新六年生の現状を踏まえ、学校に対しての保護者からの意見・要望を伝える公的な窓口を担って欲しいと思います。学級運営への不安等を、個別に学校に電話等で伝えるには限界があり、保護者意見の取りまとめと交渉窓口として機能していただけると良いと思います。

委員の数をもっと増やして、一年を通しての活動のなかで分担性にすればよいと思います

全員が参加は、このご時世無理だと思う。パトロールすら日程調整が難しい。

また、PTA は強制加入ですよね？

ならもう「任意」という肩書きはやめた方が諦めがつく。任意ならば、加入未加入をもっと自由にして欲しい。強制ならば、各家庭の家族構成や経済力を「働いていて大変なのはみんな同じです！」(学童で言われた)と一緒にしてほしくない。やっぱり違います。

あと、毎年「今年は見送りたい理由」を書くのも辛い。年収や家庭の事情を 6 年間も知らない何十人という人に公開しなきゃ行けないの辛すぎる。酔った勢いくらいで書かないと公開処刑はやりきれない。ほんとあのプリントを子どもが貰ってくる度に辛いしかないです。鬱になる。

人前で話したり広報の文章作りなど難しい事はできないですが、簡単な作業やそれらのお手伝いであれば是非やりたいと思います。

学校の事を知りたいと思う気持ちはあります。

まずはコロナ禍で先の見通せない一年、PTA 活動と改革への取り組み、本当にありがとうございました。

保護者として学校や地域と連携を取るには、PTA 役員という窓口担当を決めて、平日夜間か週末に定期的な会合が必要でしたが、コロナ禍で接触制限がかかり、否応なく新しい方式を模索された面もあったと思います。

地域によっては、これまでの負担感が減った反面、相互交流がなくなり、所謂チーム学校という結束力が著しく低下したところもあると聞きます。

やはり、子どもの見守り、防災をはじめ、地域の活力を保ち、学校への理解を深めるためにも、適度な繋がり具合を模索し続けることは大切だと感じます。

この際、かしまった式典や動員が必要な行事、ルーティン業務はコロナを理由に大胆に見直して、小規模でもいいので自発的なアイデアによる地域や学校と繋がるイベントを増やしていくことができれば。

例えば、昨夏の星を見る会など、経過は存じませんが、素晴らしいアイデアだったと思います。

以前、子どもたちと関われる委員ならやりたい～と言う声がありました！

必要だと感じられる、役にたってる～！と思える内容であることが大切なのかなと思います。

今回のコロナでデジタル化されてきたかと思いますが、更なるデジタル化を求めます。

各委員アプリも使って活動したり、全委員が紙配布を廃止し、メールでの配信のみにするなど。メールでの配信のみとした場合、メールチェックの漏れがなくなるかと思っています。

必ずいつかは役員にならないといけないという風土は、両親フルタイムの家庭は厳しいです。上に兄弟がいたり、情報がある親は、低学年に楽な委員を行っているとか、早目にやっておいた方がいいと

か促されることがあった。また、入学時に会員の子供には授業で使用する下敷きが配られるなど、入らないと子供にも影響すると感じる習慣があり任意といっても任意ではない脅迫的とも感じれる状況を改善した方が良くと思います。資料作成や配布を PTA

の仕事と表現が通常で使用されており、作業の多さを感じ共働きの自分には役員になっても責任が果たせないと感じます。

子供たちにとって必要なものに再編し縮小し、学年問わず希望者で運営するのは不可能でしょうか。役員になるかもしれないことに抵抗がある私ですが、仕事の休みが合えば、授業の協力ボランティアに行ったこともあります。

絶対に一度は役員という制度を改善していただきたいです

仕事をしていることで参加できない、ポイントがつかない、という負のサイクルをどうにかしてほしい

そもそも PTA が何をしているのかよく分からないので、大改革が必要かと思えます。分からない理由の一つに、学級崩壊が起こっているのに PTA の方々の対応等が全く聞こえてこないため。学内で起こっている問題等にもっと真摯に向き合ってくれる PTA であってほしいです。(私に見えてないだけだとしたら、申し訳ありません)

今回 5 年生で色々あったようですが、学内で起こっていることをもっと保護者に伝えて改善してほしいです。

本来 PTA は学校と協力し子供が楽しく学校生活を送れる様見守る為のものだと思う。

でもイメージはイベントの手伝いや企画

学校への備品の寄付事あるごとに長い会議

確かに上記の事も大切な役割かもしれませんが保護者が学校の事で悩んでいる事等

個人的な事ではなく学年、クラスの事など

各学期事に保護者にアンケートを取り学校に対しての意見等を取りまとめアンケート結果を保護者代表として学校に伝え内容によっては協議しその結果を保護者に伝える様に学校と保護者の架け橋となる様な活動をして欲しいと強く願います。

できるときにできる人が少しずつ参加することで回る仕組みづくり。

やらなければならない PTA ではなく子供たちや保護者に届けたい内容ありきの PTA

例

○地区委員はマンションの規模で人数を増やしては？(実際に災害の際にフォローできる体制が必要では？会議の出席も交代で参加すれば 1 人あたりの負担減になりませんか)

○家庭学級のイベントもオンラインでの対応も含めて行っては？

可能であれば動画アーカイブ配信なら参加できる方も多いのでは？

吹田市ママパスポート(乳幼児向けのイベント)もオンラインで実施されているので

何か学校でも共有できる仕組みがあればいいなと思いました。

○学級委員 ベルマーク活動 登録委員としてベルマーク作業できるという方を募るのは

どうでしょう。人数多いほど作業は軽減され助かるかと思えます。回収したベルマークを子供経由で持ち帰る等方法は検討必要ですが。家庭での作業で OK、点数計算のみ学校集合など

にすることで協力者が増えればいいなと思います。

今年は大変な中色々柔軟なご対応ありがとうございました。

星を見る会等子供たちが喜ぶ企画とてもよかったです。

今年はスケジュール的に PTA 活動にまで積極的にお手伝いできそうになく
意見のみお送りして手もあげれず無責任な感じですみません。
思いつくまま記載致しましたがご一読頂ければ幸いです。

病気や仕事や出来ない人は会費などを多めに払えば参加しなくてもいい制度にして貰いたい

二度の PTA 委員で長をしましたが、困ったことは、仕事のため日中の活動が難しい方が多く、同じ委員を受けているのに、日中に活動ができる人と難しい人の負担の差が大きく、それでも「やって良かった。楽しかった。」とみんなが思える様にバランスを取ることに気苦労しました。
経験してみた感想としては、平日日中に PTA 活動ができる人、少し難しい人で正確に申告し、日中しかできない活動はできる人ですべきだと思います。

①登録委員について

今の制度の履歴制だと、日中は休みが取りにくいのに、とりあえず何かに割り当てられるため、いざメンバーで仕事を進め始めようとなっても、「仕事があり参加できない」となります。
登録委員制度があっても、それ以上の人数が仕事があり日中活動が難しいのなら、この登録委員制度をより変化させなければいけないのでは、と思います。

②学級委員について

学級委員は、日中に活動が出来る人にかぎって募集し、学校側のサポートや、その学年の子供たちを見守るような仕事があると、積極的に参加される人が増えると思います。

③運動会の見回りや星を見る会、お祭りなどの平日日中以外の仕事は、それぞれの日中活動する委員からの招集をせず、平日日中以外の活動は、登録委員さんを中心に、登録委員制度には入れなかつたけれど、日中活動は難しい人に数年に一度の割合で役割をお願いするなど。

PTA 活動なんて、やめてしまえばいい。という意見が増えていることは理解しているけれど、「学校や子供たちを少しサポートしたい。」「保護者で集まって作業するのが楽しい。」という意見も聞きます。

改革案を挙げることも難しいことですが、議論される中の一つにどうかな？と思い、書き込ませていただきました。そして、①～③を3つも挙げたのは、"or"というプランとしてです。

今年度の末にもかかわらず、今後の PTA 活動に力を注いでいただき感謝です。
ありがとうございました。

PTA として、生徒たちを見守ったりしてほしい。保護者に学校への要望やいじめ問題などアンケートを取って保護者の声を学校に伝えてほしい。よりよい学校にするために、PTA が生徒に寄り添い、助けてあげてほしい。

仕事を持つ者にとって平日の集まりは厳しい。しかし参加しないと他の方達に迷惑が掛かり肩身が狭く、役員履歴が付かない。しかし参加して仕事を休むと職場に迷惑が掛かる。吹田市内や他府県でもPTA加入が自由に選択出来る、またはPTA自体を無くした所もある。佐竹台のPTA活動は多過ぎて大変。パトロールも2回って…家庭数も多いのだから1度で良いのでは？ ご協力のはずが、2度強制になっている。その為に仕事を遅刻または早退しなければならず、何かと負担が大きかった。

一人親家庭だと参加難しいです。子供のための PTA 活動ですが、そのために子供のための時間を割いてます。また、委員になるとどうしても母親が PTA 活動することが多いですが、それではフルタイムで働きません。女性の社会進出の妨げになるのでは。やはりできる時に参加する制度が必要。